

サーキュラーエコノミーを牽引する 「(株)ウエルクリエイト」を訪問!!

今回、私たちは(株)ウエルクリエイト代表取締役の松尾康志会長にお話を伺ってきました。松尾会長は、食品リサイクル法が施行された2001年に、「楽しい(株)」というユニークな名前で起業されました。そして、2020年4月に「楽しい(株)」「(株)ケミカルクリエイト」「(株)メリーズ・ジャパン」が各々の持つ独自の技術とノウハウを持ち寄り合併し、(株)ウエルクリエイトを設立しました。

(株)ウエルクリエイトでは、2つの事業を行なっているそうです。1つ目は、エアウォッシュ事業。2つ目は、メリーズシステム事業です。今回は、その中でもメリーズシステム事業を重点にお話を伺いました。

メリーズシステムとは、食品工場、飲食店から出た生ごみをその場で一次発酵させ、エコタウン内で二次・三次発酵させ完熟堆肥にリサイクルします。出来た堆肥を農家で使用し、収穫した循環野菜は飲食店で使用し、残渣は再利用します。食品残渣の地域内循環サービスです。まさに、サーキュラーエコノミーの地域モデルと言えます。令和2年度の「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰経済産業大臣賞」を受賞されたそうです。また、令和元年度の「北九州SDGs未来都市アワード」のESD賞も受賞しています。堆肥を北九州市中央卸売市場が行う「市民感謝デー」で無料配布されるそうですが、100袋が5分で配布し終えるほどの大盛況と聞きました。



松尾康志会長(左)・川口(中央)・生野(右)

そして、今、「SDGs ソーシャルファーム」という新しい事業に取り組んでいるそうです。北九州の農家戸数は約2,000戸で年々減少しています。一方、障がい者(知的、身体、精神、難病患者)の方は、約82,000人います。NTT西日本グループと共同実施している事業で、具体的には就活が困難なさまざまな障がいのある方を支援しながら、働きやすい職場を提供し農業を行うというものです。圃場は、苗床を高く、通路を広く取って、車いすでも作業できるようにしています。また、敷地内には、ワーケーションを実施してメンタルヘルスにも対応します。この施設を若松区の青葉台に作る計画ですが、松尾会長からはこの「SDGs ソーシャルファーム」事業に対する熱い思いが伝わってきました。私たちも、この施設が完成した時には是非視察に行きたいと思いました。

(取材:北九州市立大学地域創生学群2年 川口誉天 生野翼)



計画している「SDGs ソーシャルファーム」の模型



「SDGs ソーシャルファーム」の内部の様子



ユースによる出前講座 「身近なESDとSDGsを学ぼう!!」

ユース企画として、2日間に渡り小倉南高校にて、ワールドカフェ形式で行った出前講座を紹介し、高校生がおのの興味のあるSDGsのゴールのところへ行き、集まった10名程の高校生に向けて各ゴールについての説明を行います。

高校生と大学生の距離が近い分、フランクにコミュニケーションを取りながらSDGsについて知ってもらう良い機会となりました。また、北九州市立大学を希望する生徒に受験のアドバイスなども行うことができ、双方にとって充実した授業にすることができました。

(Goal6発表 金子穂乃花)



未来パレットだより

March 2022

vol.31

2022年3月31日発行
北九州ESD協議会

ESDとは、「持続可能な開発のための教育」を意味する英語Education for Sustainable Developmentの頭文字をとったものです。

オンラインでつながる! 広がる! 学び合う!

2020年から広がった新型コロナウイルス感染症により、私たちは、日常生活を大きく変える必要に迫られました。行動が制限され、今までどおりのコミュニケーションが取れないなど、さまざまな点で変更が求められる一方で、社会生活のデジタル化が一気に進みました。

北九州ESD協議会でも、オンラインによるイベントや会議が進みました。その中でも、2つのプロジェクトがオンラインによるイベントを実施し、市内だけでなく、国内、海外とも気軽につながり、これまで以上に学び合いを深めることができました。コロナ禍をピンチでなくチャンスととらえ、新しい連携を進めていきます。



調査研究・国際プロジェクト

ESD韓国 スタディオンラインセミナー

2021年
12月18日(土)
12月19日(日)

宗像市の(株)グローバルアリーナにおいて「ESD韓国スタディオンラインセミナー2021」を開催しました。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症が蔓延する中で開催となりましたが、韓国RCE(ソウル特別市ドボン区、トンヨン市、インジェ郡)の3地域とオンライン交流を持ちました。RCE北九州からは、北九州ESD協議会関係者のほか、福岡県環境教育学会やふくおか環境カウンセラー協会、ハングルを学ぶ「アンニョンの会」の方が参加し、日韓合計でのべ76人が参加しました。

今回のスタディオンラインセミナーでは「食育」を主なテーマとし、事前学習では北九州市保健福祉局健康推進課の磯田係長に第3次北九州市食育推進計画についてご教授いただきました。韓国各地域や北九州市との「食」への考え方の違いや食育の実施状況についてお互いに学ぶ機会となりました。



(調査研究・国際プロジェクトリーダー 川島伸治)

人材育成・発掘プロジェクト

第8回 おしゃべり工房

2021年
12月18日(土)

今回「おしゃべり工房」を初めてオンラインで開催しました。北九州市立大学のプロモート実習生によるスムーズな司会進行で、24名の参加者と有意義な学び合いができました。

まずは市民センターを拠点としたESD活動の実践事例として、西門司市民センターで取り組んだ、聞き書きでのこす門司の記憶「未来への伝言」の事業をまとめた動画を視聴しました。これは西門司市民センターで企画した自分史聞き書き講座の受講生が、「ともがき隊」という団体を結成し、門司の空襲(1945年)と北九州大水害(1953年)の体験者から直接聞いた証言を後世に伝え残すため、冊子を作成した道のりの記録で、その後の「公開座談会」や「門司の空襲・水害被災者のための慰霊祭」、子ども事業への展開を含め、活動の奥深さを紹介し、活動に携わった人々や戦争体験者のインタビューも収めたドキュメンタリー仕立ての動画です。視聴後のグループセッションでは、市民活動者のもとより市民センター館長や職員、学校教育関係者などさまざまな方々と活発な意見交換を行うことができました。

(人材育成・発掘プロジェクトリーダー 渡辺いづみ)

人材育成・発掘プロジェクト 第8回 おしゃべり工房

「未来への伝言」を聞き書きの手法で証言集にまとめ上げた。今回のおしゃべり工房では、その「ともがき隊」の活動の様子を動画にまとめたものを視聴し、地域の歴史を次世代に残す活動の様子を語り合うオンライン交流を企画しました。地味な取り組みや平和学習に関心がある方も是非、お気軽にご参加ください。

開催日 令和3年12月18日(土) 14:00~16:00
開催方法 オンライン(zoom)

*前日に17時までにURLを送らせていただきます。届かなかった場合はご連絡ください。
申込方法 メール k-esd@k-esd.jp QRコード
*zoomのURLを送りますのでメールまたはQRコードにて申し込みください。
締め切り 12月10日(金)まで
主催 北九州ESD協議会 人材育成・発掘プロジェクト
お問い合わせ 093-531-5011 (担当: 高橋)

コロナ禍でも、ESDの活動が推進!

各プロジェクト活動だけでなく、今年度もESD協議会では、出前講座や新しく開始されたチーム制度など多くの活動が進められました。出前講座は、地域づくりの核となる市民センター等を通じて、地域の方々に、さまざまな分野の講座を実施し、学ぶ機会を共有しています。イベントプロジェクトでは、環境ミュージアムで開催された未来ホテルデーや、西日本総合展示場で開催されたゆめみらいワークに出展し、主に子どもたちにエコ工作などを通じて環境やSDGsについて伝えることができました。また、今年度から開始したチーム制度には、4つのチームが申請し、それぞれ課題解決に向けて、賛同する仲間と新しい協働のもと活動を実施しています。

出前講座 ESDの発信 多くの方々と学びの機会を共有! さまざまな地域でおこないました

悲鳴をあげている地球環境
~もっと、もっと、もったいないを習慣化しよう!~

講師 金子 良憲
内容 地球温暖化、CO₂の上昇の原因を考え、CO₂削減の具体的な取り組みを実践から学びます。
感想 とても分かりやすく今の地球環境について教えていただきました。一人ひとりが何をしたら良いのか考える機会になりました。

食品ロス!!一緒に考えましょう

講師 認定NPO法人 フードバンク北九州 ライフアゲイン
内容 どのようにして食品ロスが生まれるのか?食品ロスは現代社会への警鐘です。何ができるかを考えてみましょう。
感想 飢餓で亡くなる子どもの人数に衝撃を受けた。日々の生活の中で少しでも実践していきたいと感じた。

ふれあい竹チェロ遊び

講師 竹瀬共振プロジェクト 田中 昇三
内容 廃材となる竹の有効活用から生まれた奇跡の竹チェロを通して竹害の現状を学べます。
感想 北九州はSDGsの一環として合馬の竹を利用しているので、より意識づけになると思った。



今回ご紹介した講座以外にも41講座あります。今後も講座内容をさらに充実し、実施していきます。費用は無料です。詳しくはホームページよりご覧ください。



ホームページはこちら

八幡大空襲 体験者からの伝言

講師 聞き書きボランティア「平野塾」
内容 1945年8月8日に起きた八幡大空襲の体験者からじかに戦争の実態を聞きながら平和の尊さや命の大切さについて学べます。
感想 当たり前が当たり前じゃないということが分かった。

ジオ&バイオかるた

講師 ジオ&バイオ研究会 杉野 広利
内容 北九州のジオサイトなどを描いたカルタやすごろくなどを使って楽しく学べます。
感想 ジオかるたと、3億年の時間旅行の資料で身近にジオスポットがあることを知り子どもたちの興味を刺激することができた。

金の歴史とその素顔 ~金の知識とSDGs~

講師 科学技術コミュニケーション研究所 泉 優佳理
内容 オリンピックのメダルはなぜ金・銀・銅なのでしょう?金はなぜ大切にされているのかなど、北九州のSDGsの取り組みと合わせて説明します。
感想 机上の勉強から、思いを表現するというワークということで、生き生きと生徒たちが楽しくSDGsについて考えることができたと思います。

イベント イベントプロジェクト「未来ホテルデー」 2021年 11月20日(土) 11月21日(日)

環境ミュージアムで開催された未来ホテルデーにESD協議会からは、ペットボトル貯金箱の工作で、私たち学生も参加しました。2日間合わせて70名程の多くの子どもたちが参加しました。おのおの、自由に飾り付けを行い、個性あふれる貯金箱を嬉しそうに持って帰り、私たちも嬉しかったです。また、私たちがSDGs・ESDについて子どもたちに話をしたことによって、アンケートで「SDGs・ESDについて分かった!」という回答がいくつもあり、とても良いイベントになったと思います。



(北九州市立大学地域創生学群 ESD プロモート実習 古井陽)

新 チーム活動 各チームで賛同する仲間とともに新しい協働を実践!!

私たちの関係人口増加プロジェクト

チームリーダー 池本 真一

私たちを取り巻く環境は劇的に変化し、私たち一人ひとりも社会の変化に合わせて自分自身を変化させていく必要があるのではと考えています。チーム活動では、利他の心を醸成する場のキッカケづくりとして、地域資源である自然海岸・清掃活動を通して、年齢・性別・職業・地域を問わずスタッフ・参加者が集まり、取り組んでいます。

チーム活動の推進力は、ぶれない軸のミッション(使命)、溢れんばかりの情熱(情熱)です。「想いを形に」繋がるコミュニケーション活動だからこそ、日々の「当たり前」を超えて、「自分の在り方」やレジリエンス「内なる力」を再確認し、「自分を変える」場のキッカケづくりを目指し続けて参ります。



地域の人財をつなぎ “希望ある未来の街創り”

チームリーダー 久永 恵美子

響灘埋め立て地に2006~2021年の16年間でどんぐりの苗木30万本の植樹活動の目標を多くの方達と感動の中達成する事ができました。新たに持続可能な緑の回廊創成の準備に動いております。

エコライフステージ20周年記念事業では動画配信や記念セミナーでの環境家計簿の推進活動の紹介や、コロナ禍で最大の注意を払い市民センターでブース出展を行いました。また文化祭に5日間出展し地域住民の皆様と対話の場を広げました。市のタウンミーティングでも発表の場を頂戴しました。SDGs達成に向けて足元の一步から市民社会の連帯の一翼を担うことが出来ればと願う行動します。



島郷市民センターにて

SDGs 教材開発

チームリーダー 原賀 いずみ

SDGs教材開発チームは、西門司市民センターの協力のもとSDGs図書館大作戦の普及に取り組みました。門司区の社会教育主事を中心に門司区で展開、その後小倉南区、八幡東区、八幡西区などの市民センターの館長研修やコーディネーター研修でも実施しました。SDGs図書館大作戦は、ブックカードをつくるだけでなく、身近なSDGsについて学ぶことができるワークショップです。新しいファシリテーターも生まれています。また10月25日には、西南女学院高校でSDGsアートのワークショップも行い好評でした。



ESDツキイチの集い

北九州市立大学プロモート実習生

第35回ESDツキイチの集い「スポーツしながら学ぼう!まちロゲイニング」では、北方地域交流センターから北方駅周辺で、街を歩く中でゴミを拾いを行いながら、今まで気づかなかった地域にあるSDGsやESDにゆかりのあるスポットに目を向けてもらうきっかけづくり、運動不足の解消につなげることを目的に開催しました。幅広い年代の方が参加していただき、グループ活動での楽しさやSDGsを身近に感じてもらうことができました。



北方地域交流センターにて